

平成23年 江・浅井三姉妹博覧会

24年 長浜・戦国大河ふるさと博覧会

25年 住民票の写し等のコンビニ交付サービス開始

26年 ヤンマーミュージアムオープン

27年 県道丁野虎姫長浜線(五村工区)開通

28年 小中学校全教室にエアコン整備

29年 黒田官兵衛博覧会

30年 第1回観音の里の祈りと暮らし展

31年 樺坂トンネル開通

32年 市民プールオープン

33年 長浜市役所新庁舎グランドオープン

34年 長浜駅南再開発でモンテカルロ長浜オープン

35年 市民庭球場オープン

36年 観音坂トンネル開通

37年 びわ湖・長浜KANON HOUSE上野にオープン

38年 観音の里の祈りと暮らし展II

39年 長浜曳山祭ユネスコ無形文化遺産登録

40年 日本の祭りinながはま開催

41年 丹生ダム中止決定

42年 小学校給食費無料スタート

43年 保育料第2子半額、第3子以降無料スタート

44年 長浜市総合計画を策定しキャッチコピーを

45年 「挑戦」と「創造」に決定

46年 小谷城スマートインターチェンジ開通

47年 道の駅浅井三姉妹の郷オープン

48年 えぎまちテラス長浜オープン

49年 雨森芳洲関係資料ユネスコ世界の記憶登録

50年 長浜曳山祭東京国立劇場公演

51年 黒壁30周年

52年 菅浦文書国宝指定

53年 余呉小中学校開校

54年 全国みどりの愛護のつどい

55年 長浜北部学校給食センターオープン



江・浅井三姉妹博覧会

長浜史上最高の年間観光客を記録した江・浅井三姉妹博覧会をはじめとする各博覧会、観音の里祈りと暮らし展などで長浜を全国に発信し、市の一体感を生み出してきました。さらに、小学校給食費の無料化、保育料の第2子半額・第3子以降無料など、長浜ブランドを高める施策を打ち出した時代となりました。

平成の最後は、長浜曳山祭、雨森芳洲関係資料のユネスコ登録、菅浦文書の国宝指定など、長浜の歴史の1ページに刻まれるビッグニュースが続きました。

世界・日本の動き

- ・携帯電話加入数が総人口普及率 100%に (平成 23 年)
- ・東日本大震災 (平成 23 年)
- ・東京スカイツリー開業 (平成 24 年)
- ・オバマ大統領が現職米大統領として広島初訪問 (平成 28 年)



長浜市長
藤井 勇治

私が市長に就任して10年目となる節目の年に新時代がまいりました。市政の確かな発展に向けて着実に取り組んでおりますが、新しい時代は、国難とも言われる人口減少・少子高齢化の真つ只中にあります。

私は、「市民力」が長浜の何よりの財産であり、最大の武器だと考えています。全国に発信しているわが湖北長浜が誇る観音文化や、ユネスコ無形文化遺産に登録された長浜曳山祭、国宝指定を受けた菅浦文書は、まさに民衆が守り継いできた文化であり、長浜の市民力が世界に認められたことに他なりません。

新しい時代「令和」はまさに「市民の時代」です。そして、真に長浜が発展を遂げる転換期であり、飛躍の時代にしなければなりません。そのための原動力となる「市民の活力」を引き上げ、「元氣」を創造する施策を充実します。

平成時代では、土を耕し種を撒いて、合併後の長浜市の礎を築き、鮮やかな花を咲かせてまいりました。令和の時代には、これらの花を市民の皆さんと一緒にしっかりと実らせ、元氣で活力ある長浜にしていきます。

新時代「令和」に寄せる思い



原田 萌里 さん

平成生まれの私たちが、令和を創る時代になりました。私たちの子どもや孫に「令和に生まれてよかったなあ」と思ってもらえる時代になるよう、みんなで頑張りましょう！平成に生まれてよかった！ありがとう平成！よろしくね令和！



中尾 真菜 さん

地域のために何か行動を起こしたい人が行動に移せるまちになってほしいです。大学卒業後は、長浜のために頑張っている人を支えていけたらと考えています。地域のことを考えてくれる人が増えれば、長浜もより活性化します。私も、地方が輝く時代になるよう行動していきます。



美濃部 裕道 さん

年齢的にも、平成とともに生きてきたといっても過言ではありません。新時代には、しょうがい者が自立して生活することができ、生きやすい世界が築かれればと願います。健常者、しょうがい者ともに壁のない世の中になるよう、微力ながら活動が続けたいと思います。



虎山 駿太 さん

平成という時代に生まれ、育ってきて、今年子どもができました。とても充実し、人生の基礎が作れた時代だったと思います。令和という新しい時代では、平成で作った基礎の上に、子どもとともにさらに充実した人生を積み上げていきたいです。



村山 ジェラルディン さん

「令和」には希望や調和といった深い意味や願いが込められています。誰もが家族を一番大切に想い、子どもにたくさんの愛を与え、調和と愛情にあふれた家族を築ける時代になってほしいです。日本で暮らして20年。長浜の皆さんがくれた優しさを、長浜の子どもたちにも伝えたいです。



松井 善典 さん

誰もが長生きで、元気に活躍する社会になっていくので、それを支える医療が必要になってきます。元気な人がより元気になる一方で、病気で困っている人も救い上げる社会にも貢献したいです。技術が進む令和の時代も、人間にしかできない仕事を大切にし、温度を感じられる医療を提供します。



高山 典也 さん

「曳山祭」、「黒壁」、「夏中さん」と幼い頃から慣れ親しんできた長浜は、私にとってもずっと住み続けたいまちです。できれば将来、市職員として、「訪れてみたい」、「住んでみたい」と全国の方から言われるような、令和の長浜のまちづくりに貢献していきたいと考えています。



宮本 麻里 さん

一人ひとり自分らしい日々が送れ、楽しんで子育て、働くことができ、それぞれが活躍できる場所を見つけれられる。穏やかにあたたかい心を持ち、家族や地域の人々を大切に想い、支えあう。そんな人があふれるまち「長浜」になりますように。